

歴史 (History)		2年・通年・2単位・必修 5学科共通 担当 大矢 良哲
〔準学士課程(本科1-5年)学習教育目標〕 (1)	〔システム創成工学教育 プログラム学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
<p>〔講義の目的〕</p> <p>歴史の学習の目的は、過去に学ぶ、つまり今と未来への道標を探ることにある。日本史の場合、その目的は、過去の文化的伝統の中から、われわれが本当に誇り得るもの、明日の日本の発展、さらに人類全体の向上のために貢献し得るもの、反対に、日本民族の進歩を妨げてきたもの、今後一日も早く清算されなければならないものを的確に見分け、それぞれにふさわしい正当な位置づけを行うところにある。歴史では基本的な事実を正しく理解し、歴史的なものの見方を育てていきたい。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>講義は、時間の関係で、原始から近世までの通史と近現代の一部を取り上げる。近現代は、“アジアのなかの日本”をテーマに平和学習を行う。夏休みには調査レポートを課し、授業の中に発表の機会を持つ。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>歴史学という学問は、過去に向かってわれわれの探究心を無限に伸ばしていくものだから、知的遊戯としての楽しさを含んでいる。しかしそれは過去を過去としてのみ後ろ向きに見るものではない。むしろ前向きの実践的な性格の強い学問であり、人々の生き方そのものに直結している。歴史は暗記ものだというような考え方は、この点が理解されてないことによる。歴史学は、経済学・法学・政治学などとは違って、社会諸現象の総体を有機的に捉え、これを時間の経過において問題にするところに特色がある。テストの際に暗記さえすればよいという考えは捨てていただきたい。むしろ歴史の流れを理解するほうが大切で、そのために多少の歴史的用語の学習が必要となるのである。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>学生諸君が、日本の歴史を、日本をとりまく世界の歴史とのつながりのもとに科学的に理解しようとすること。そのためには、まず日本史の正確な理解が要求される。</p>		
<p>〔評価方法〕 以下の3つの項目で成績評価を行う。</p> <p>定期試験(60%)...前期中間・後期中間・学年末に実施。 レポート(25%)...夏休みには平和学習の課題を出す。このレポートの内容、発表の仕方は定期試験と同等に評価する。残り15%は出席状況・受講態度(ノート点検等)等で評価する。また秋には自由研究課題(奈良国立博物館の活用)を出す。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>「ビジュアルワイド 図説日本史」(東京書籍)を教科書として使用する。</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>補助教材としてはビデオ教材や配布プリントなどを使用する。</p> <p>参考書には「日本社会の歴史(上・中・下)」網野善彦著(岩波新書) 「日本文化史 第二版」家永三郎著(岩波新書)などがある。</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕</p> <p>本教科は地理・歴史(世界史)・政治経済・法学・経済学等の科目に関連する。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	〔原始・古代〕 歴史とは、旧石器時代	歴史をいかに学ぶか。石器時代の生活はどのような特徴をもっていたか。	
第2週	縄文時代	縄文時代の生活にはどのような進歩があらわされていたか。	
第3週	弥生文化	弥生文化はどのようにして成立し、どのように発展したか。	
第4週	ヤマト政権の成立と古墳文化	どのようにしてヤマト政権は成立し、古墳文化を築きあげたか。	
第5週	聖徳太子の政治と飛鳥文化	飛鳥の朝廷と文化は、東アジアとどのような関連を持っているか。	
第6週	改新政治の進展と白鳳文化	新政府はどのようにして新政をおしすすめたか。また白鳳文化は...	
第7週	律令体制の成立と農民生活	完成した日本律令はどのような特質をもっているのか。	
第8週	平城京と奈良時代の政治	平城京を中心にして、奈良時代の国家はどのように発展したか。	
第9週	〔近代〕 アジアのなかの日本 大日本帝国の戦争	戦争が日常だった国はいかに戦ったか、そしてそのときの国民の表情は... (映像使用)	
第10週	太平洋戦争への道	なぜ太平洋戦争にまで発展したか。直前の日米関係史料を読む (史料)	
第11週	植民地支配の実態	アジア太平洋戦争の植民地・占領地支配の実態は... (史料)	
第12週	空襲・沖縄・広島・長崎	戦争終結の過程と日本の被害を学ぶ (映像・史料)	
第13週	民主化と戦後改革	戦後の改革はいかにおこなわれたか。また日本国憲法の基本的特徴は...	
第14週 第15週	レポート発表	夏休みの課題 (平和学習) の調査結果を報告し、その成果を提出する。	
第16週	〔古代〕天平文化	天平文化は前代の文化とどのようにちがひ、また国家の発展や矛盾とどのように関係しているか。	
第17週	律令体制の再建と弘仁・貞観文化	律令政治はどのような方法で再建が図られ、どのような成果をあげたか。	
第18週	摂関政治と荘園制	摂関政治といわれる政治はどんな実態であったか。	
第19週	院政と国風文化	院政の成立に対し、貴族・大寺・武将などはどのような動きをみせたか。	
第20週	〔中世〕平氏政権と鎌倉幕府	平氏政権の特徴はなにか。また鎌倉幕府どのように設置されていったか。	
第21週	鎌倉文化	大きな時代の転換期にどのような文化が生み出されたか。	
第22週	南北朝の動乱と室町幕府	鎌倉幕府はどのように滅亡し、その結果どんな体制があらわれたか。	
第23週	惣の形成、土一揆、応仁の乱	室町幕府の動揺がもたらした結果は、いかなるものであったか。	
第24週	室町文化	東山文化はどのようにして日本の伝統文化として位置づけられるのか。	
第25週	戦国大名の出自と分国支配	戦国大名はどのように新しい体制をつくり出していったか。	
第26週	〔近世〕 織豊政権の天下統一	織豊政権の統一事業はどのような歴史的な意味をもっていたか。	
第27週	桃山文化と江戸幕府の成立	江戸幕府はどのように支配をかためていったか。また当時の文化は...	
第28週	幕藩体制の成立	幕藩体制のもとで、農民はどのように統制され、どのような状態におかれたか。	
第29週	鎖国と琉球、アイヌ	四つの窓で行われた外交秩序、鎖国とはどんな意味をもつものか。	
第30週	まとめ		

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)